

白杵市 施策評価シート
(令和4年度)

評価担当者	課名	氏名	内線
	消防本部警防課	庄司 哲宏	1512

コード	VII-21-49	施策名	救急体制・消防力の充実
施策の方針	安心安全な暮らしを守り支える		
まちづくりの方針	豊かな自然環境で市民が潤い、活力あふれるまち(生活環境)		
5年後のめざす姿	幼少期から火災の怖さや命の大切さについて学び、防火意識の向上、応急手当の普及、救急車の適正な利用につなげます。消防施設などを活用した訓練や研修により消防職員・消防団員の現場活動対応能力の向上をめざします。		
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> 救急業務では医療機関との検証会議、訓練等を通じ連携協力体制を図ります。救急救命士の育成や隊員に対する専門的な知識・技術の向上のため教育訓練を強化しています。また多くの市民が救命講習を受講できる環境を整備しています。 消防団員について、処遇を改善し、市内の各事業所などと連携を図り、確保しています。 火災件数についてもケーブルテレビや市報を通じて、広報を行い減少に繋がります。 		

<指標>

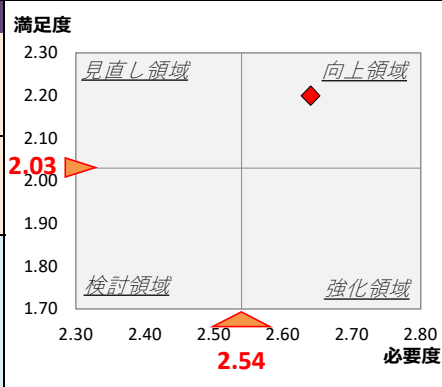
新規指標	指標名	説明・算式・引用	実績の推移							
			単位	R1	R2	R3	R4	R5	R6	
火災、救急、救助訓練の実施回数(年間)	各年度における訓練実施回数	目標	回	110	120	130	140	150		
			実績	134	243	250	260			
			達成率	%	220.9%	208.3%	200.0%			
救急車の現場到着時間の短縮	救急年報	目標	分	7.7	7.6	7.5	7.4	7.3		
			実績	8.3	8.0	8.3	8.0			
			達成率	%	96.3%	91.6%	93.8%			
火災発生件数(年間)	火災年報	目標	件	14	14	14	14	14	14	
			実績	21	15	18	19			
			達成率	%	93.3%	77.8%	73.7%			
消防団協力事業所認定数【累計】	消防団協力事業所の認定数	目標	件	15	17	19	21	23		
			実績	13	15	17	19			
			達成率	%	100.0%	100.0%	100.0%			
救急救命士資格の取得人数	救急救命士資格取得者数	目標	人	23	24	25	26	27		
			実績	22	24	25	28			
			達成率	%	104.3%	104.2%	112.0%			
学校や地域における救急救命講習会への参加者数	救急救命講習会の年間受講者数	目標	人	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500		
			実績	2,094	636	839	427			
			達成率	%	42.4%	55.9%	28.5%			
安心安全お届けサービスの実施件数【累計】	安心安全お届けサービスの実施件数の累計(野津地域のみ)	目標	件	3,620	3,730	3,860	3,980	4,100		
			実績	3,504	3,541	3,582	3,669			
			達成率	%	97.8%	96.0%	95.1%			

指標の分析

・火災・救急・救助活動については、組織的・計画的に訓練を実施し、十分かつ適切な内容で技術向上に努めました。
 ・救急車の現場到着時間短縮については、連携を図りながら様々な施策が必要です。救命士の養成は継続して行います。
 ・火災発生件数は前年度より微増しました。市民への更なる防火意識向上に努めていきます。
 ・消防団員の確保については、地域の方々や事業所の方々に呼びかけを行い、団員を募集していくことが必要です。
 ・救命講習や安心安全お届けサービスについては、コロナ禍で実施が難しく、新たな実施方法の検討が必要です。

<市民意識調査結果>

市民意識調査結果 (R4調査)	領域名	必要度	満足度
市民意識調査結果 (R4調査)	向上領域	2.64	2.20
市民意識調査結果分析	調査結果によれば、強化・向上が望まれていることから、今後も救急体制・消防力の更なる取組の強化が必要と考えます。高度救命資器材を活用した救急活動など、安全に暮らせる施策に満足頂いているものと考えます。全国的に災害等が多発しており、安心安全に対する意識が高くなっています。		



<次年度以降の課題>

令和5年度以降の課題

救急体制の充実については、計画的に救急救命士を養成し、高度救命処置ができる体制を確立する必要があります。市民による応急手当の実施率を向上させるため更なる普及啓発に努めて参ります。現場活動全般において関係機関との連携を強化してサービスの向上に努めます。
 消防力の充実については、火災件数の減少を実現できるよう、防火啓発や住宅用火災警報器の施策強化に努めます。消防団員の確保については、事業所の協力を通じて「消防団協力事業所表示制度」を普及する必要があります。

<施策を構成する主な事務事業一覧表>

事務事業名	事業内容	担当課 ※実施した課を記入	課の重点 ※運営計画記載	事業費(単位:千円)			課長評価	公共5カ年	他の関連施策コード
				R3年度実績	R4年度実績	令和5年度見込み			
1 救急出動業務	応答時間(覚知から現場到着までの時間)	警防課	○				継続		
2 救急救命士養成業務	救急救命士を養成し、救急体制強化を図ります。	警防課	○	2,447	2,440	2,544	継続		
3 普通救命講習事業	市民への応急手当の普及	警防課	○				継続		
4 無火災事業	広報者による防火広報・避難訓練及び防火講話を行い火災件数の削減を図ります。	予防課	○				継続		
5 消防団加入促進事業	自治会や各事業所の協力を得て、団員を確保します。	総務課	○				継続		
6 安心安全お届けサービス事業	高齢者世帯を訪問し、防火啓発及び促進を行います。	野津分署	○				継続		
7									
8									
9									
10									
合計				2,447	2,440	2,544			

<施策の今後の展開 ~担当課長評価>

進捗状況	隊員の教育訓練の充実、関係機関との連携強化等、救急活動の充実強化を図ります。また、市民に向けて応急手当の普及啓発活動推進に努めます。火災予防については、様々な媒体を活用し、広報等の強化を行っていきます。消防団員の確保については、事業所の協力が不可欠なため「消防団協力事業所表示制度」を普及し、団員確保につなげていきます。	課長評価
概ね順調		目標を達するため、現状維持とする

<施策の今後の展開 ~内部評価(内部検討会)>

※以降の評価は、令和3年度～令和5年度の3カ年に分けて実施予定。

実施年度	内部評価
令和4年度実施済	-

<白杵市行財政活性化推進委員会による外部評価:最終>

外部評価	評価のコメント
-	

<白杵市行財政活性化推進委員会を受けての市の取組>

--